

## 令和2年度 第1回 学校運営協議会の報告

令和2年度第1回会議は、5月26日(火)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による審議となりました。令和元年度学校評価・令和2年度学校経営計画・授業アンケート質問項目・臨時休業中からこれまでの取り組み状況について、各委員から文書でご意見をいただき、6月19日(金)木原会長にお越しいただき、校長、教頭で協議とまとめをいたしました。

出席者(メール、電話、面談にてご意見をいただいた委員)

木原俊行(会長), 中務高俊(副会長), 中川智皓(委員), 山本博資(委員), 富士原純一(委員), 稲葉啓子(委員)

### <議題・協議事項>

○令和2年度学校経営計画について

<中期的目標>

- ・今年度から、1. 人間性の涵養、2. キャリア教育と順序を入れ替えたことは、本校のめざす人材育成の観点から理解できる
- ・表現をわかりやすく変更されたことは評価できる
- ・広報活動の充実を欄外から中期的目標に入れたが、今年度の志願状況はどうであったか。
- 昨年度、志願倍率が例年よりも低かった普通科については、学校説明会を複数回実施するなど、広報活動の充実に努めた結果、以前と同じように高い倍率となった。しかし、音楽科では初めて定員を満たすことができなかった。今後、さらに広報活動を充実させるとともに、生徒減少期を迎える今後に向けて、中学生のニーズ把握など、教育庁と連携しながら対応していく。今後も、学校の特色、魅力発信に取り組んでいく。

<本年度の取組内容及び評価指標について>

- ・昨年度の評価をみたときに、今年度の目標設定をもう少し高く持ってもよい
- 評価指標については、昨年度と同程度に設定しているが、取組みがいい方向に進んでいるので、今年度は昨年度より高みをめざして取組んでいく。

○授業アンケートの質問項目、臨時休業中や分散登校中の取組みについて

- ・学校の様子が、新聞やニュースにも取り上げられていた。苦労しながらも学力保障・健康管理に取組まれていたことがわかる。この間、特にオンライン授業が取りざたされている。学習面は元より、国際交流についても活用できるのではないか。また、この期間の学習状況について、生徒へのアンケートや授業アンケートにも家庭での学習に関する項目をいれてはどうか。
- 中期目標にも「国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する」とある点を踏まえて、これまでもハワイのプナホウ高校とのテレビ会議などを行っているが、更にオンラインによる展開(Zoomなど)を考えていきたい。また、これまでの家庭での学習状況や今後の学校生活・進路に対する意識調査も実施する(6月中旬実施済み)。
- 授業アンケート項目に家庭での課題の取組みの追加を検討する。
- 第2波、第3波に備えて、オンラインによる双方向の授業展開ができるよう準備を進めている。

<議決事項> なし

<まとめ>

今年度の計画や、これまでの取組みに対してご意見をいただきましたが、委員からは、これまで経験をしたことのない事態ではあるが、学校の取組みとしては概ね順調に進んでいるのではないかと感想をいただきました。今後もより意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

第2回運営協議会は 10月20日(火)午後2時50分~午後5時(授業見学を含む。)を予定しております。